

2018年度・東広島市民講座報告

「不思議な磁石の力」

谷本能文・樋高義昭

東広島市生涯学習フェスティバルの一環として、11月17日(土) 午後に、15組の小学生の親子を対象に、市民講座「不思議な磁石の力」を東広島芸術文化ホール くららの研修室で実施した。

簡単な磁石の説明の後、

実験1 「銀の結晶を作ってみよう」、

実験2 「先生が配った磁石は本物かな？ ークリップがくっつくか確かめてみよう」、

実験3 「どちらが鉄の線、どちらがアルミの線？」、

実験4a 「どちらが鉄の缶(カン)、どちらがアルミ缶？」、

実験4b 「鉄の缶(カン)の横とふたの部分、どちらも磁石にくっつくかな？」、

実験5a 「いろいろなものを、磁石にくっつくものとくっつかないものに分けてみよう」、

実験5b 「千円札は磁石にくっつくかな？」、

実験6 「シャープペンのしんは磁石が好き!？」、

実験7 「アルミパイプの穴の中に、磁石を落とすと早く落ちる？ 遅く落ちる？」

の実験を行い、最後に、もっと強い磁石を使うとどうなるかという例として、カエルの磁気浮上などをビデオで見てもらった。

いずれも、親子が一緒になり楽しく実験・体験したり、観たりした。準備が大変で多少疲れもしたが、その分子どもたちに理科の面白さを十分に体験してもらえたと思う。加えて、親子の絆を強めるのに役立ったのではないかと思う。

最後に、講座に際してご協力をいただいた関係者の皆様に感謝します。また、本講座は、大阪大谷大学薬学部分子化学講座のご協力をいただいた。